

役員一覧

取締役



1 岸田 裕之

代表取締役
取締役会長 (CEO)

主に企画関連業務に従事し、2018年1月から2023年12月までの6年間社長執行役員、2024年1月から取締役会長として取締役会議長を務めています。



2 松本 尚武

代表取締役
社長執行役員 (COO)

主に営業、企画関連業務に従事し、2024年1月から社長執行役員を務め、グループ2030年ビジョンの達成に向け全社を牽引しています。



3 杉山 武靖

取締役 常務執行役員
コーポレートサービス本部長

主に営業、人事関連業務に従事し、コーポレートサービス本部長を務め、グループ本社部門全体を司っています。



4 中西 勝則

■ 社外 取締役

金融機関の経営者として培われた豊富な経験と高い見識により、社外取締役として経営全般に適切な助言をいただいています。



5 平野 肇

■ 社外 取締役

大手商社の業務執行責任者および監査役として培われた豊富な経験と、エネルギー事業に精通した高い見識により、社外取締役として経営全般に適切な助言をいただいています。



6 丸野 孝一

■ 社外 取締役

生命保険会社の経営者としての豊富な経験ならびに財務、会計に関する知見に基づいた高い見識により、社外取締役として経営全般に適切な助言をいただいています。



7 平川 理恵

■ 社外 取締役

民間企業、教育行政の領域において、数多くの改革を実行してきた推進力に加え、会社経営で培われた経験と高い見識により、社外取締役として経営全般に適切な助言をいただいています。

監査役



8 小杉 充伸

常勤監査役

主に企画関連業務に従事し、2016年3月から2024年3月までの8年間取締役、2024年3月から常勤監査役を務めています。



9 谷津 良明

■ 社外 監査役

長年にわたる公認会計士としての豊富な経験と財務および会計に関する専門的な見識を有し、社外監査役として経営全般に適切な発言をいただいています。



10 小林 英文

■ 社外 監査役

金融機関の経営者として培われた豊富な経験と高い見識に加え、国際金融分野における経験と高い見識、財務および会計に関する見識により、社外監査役として経営全般に適切な発言をいただいています。



11 柴垣 貴弘

■ 社外 監査役

生命保険会社の経営者としての豊富な経験と高い見識に加え、財務および会計に関する高い見識により、社外監査役として経営全般に適切な発言をいただいています。

役員のスキルマトリックス

※下記一覧表は、各人の有するすべての専門性や経験を示すものではありません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
企業経営	■	■		■		■	■				■
法務・リスクマネジメント	■		■	■	■	■		■	■	■	
財務・会計	■	■		■		■		■	■	■	■
人材・組織開発			■	■			■	■			
地域経済・地域に対する知見	■	■	■	■				■	■		
エネルギー事業	■	■	■		■			■			
グローバル事業		■		■	■	■				■	
営業・マーケティング	■	■	■		■		■				■

07

- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報
- CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



執行役員一覧



- 1 代表取締役
社長執行役員
松本 尚武
- 2 取締役 常務執行役員
コーポレートサービス本部長
杉山 武靖
- 3 常務執行役員
ガス&パワー本部長
金田 裕孝
- 4 常務執行役員
静岡ガスエネルギー株式会社
代表取締役社長
伊藤 晴生
- 5 常務執行役員
営業本部長
内藤 貴康
- 6 常務執行役員
導管ネットワーク本部長、安全推進室担当
内田 充
- 7 執行役員
海外・資源本部長
辻 晃
- 8 執行役員
経営戦略本部長 兼 経営企画部長
勝呂 恭正
- 9 執行役員
営業本部副本部長 兼 くらしデザイン部長
加藤 力弥
- 10 執行役員
導管ネットワーク本部副本部長 兼
導管保安・普及推進部長
名倉 哲士

07

- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



07

- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

当社は「エネルギーを中心としたグループ総合力で、豊かで持続可能な未来を追い求めます」という企業理念のもと、天然ガスの普及拡大やお客さまへの最適なソリューション提供等を通じて、地域の発展と環境保全への貢献を進めています。その上で、株主、お客さま、地域社会、取引先、従業員など当社に係るステークホルダーに対する責任を果たすべく、経営の監督と業務執行の役割を明確化し、コーポレート・ガバナンスの実効性を確保します。

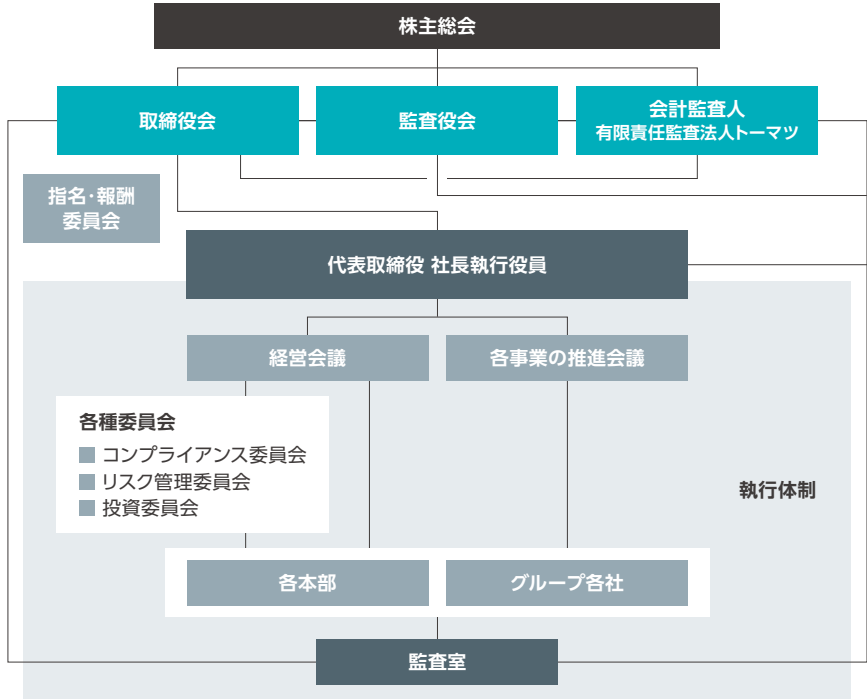
当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本方針については「コーポレート・ガバナンス・ガイドライン」として、当社ホームページにて開示しています。

組織形態	監査役会設置会社
定款上の取締役の員数	7名
定款上の取締役の任期	1年
取締役会の議長	会長 (社長を兼任している場合を除く)
取締役の人数	7名
社外取締役の選任状況	選任している
社外取締役の人数	4名
社外取締役のうち独立役員に指定されている人数	4名

コーポレート・ガバナンス体制

当社は取締役会において、経営の重要な意思決定および業務執行の監督を行うとともに、監査役会設置会社として取締役会から独立した監査役および監査役会により、取締役の職務執行状況等の監査を実施しています。また、社外取締役および社外監査役の果たす機能・役割の重要性に鑑み、社外取締役4名、社外監査役3名を招聘し、客観性・透明性の高いガバナンス体制を採用・構築しています。

業務執行体制は、代表取締役社長執行役員を中心に経営会議等の各種委員会を設置し、グループ全体的確かつ迅速な意思決定を行うとともに、その状況を適時、取締役会へ報告し、コーポレート・ガバナンスの実効性を確保しています。



取締役会の構成と役割

取締役会は、社外取締役4名を含む7名で構成しています。定例取締役会の開催に加え、必要に応じて臨時取締役会を開催し、取締役会長を議長として、当社の意思決定と職務執行状況の監督に加え、グループ全体の重要事項の意思決定を行っています。

取締役会の活動状況

取締役会は2024年度においては9回開催され、法令、定款および取締役会規程等に基づき、経営上の重要事項について決定を行っています。

2024年度における具体的な検討内容は、当社グループの経営計画、重要な人事、重要な投資、資産および財務に関する事項、職務執行状況報告等でした。

取締役会出席状況

		出席回数	出席率
代表取締役 取締役会長	岸田 裕之	9 / 9回	100%
代表取締役	松本 尚武	8 / 8回(注)	100%
取締役	戸野谷 宏	9 / 9回	100%
取締役	小杉 充伸	1 / 1回(注)	100%
取締役	遠藤 正和	1 / 1回(注)	100%
社外取締役	野末 寿一	1 / 1回(注)	100%
社外取締役	中西 勝則	9 / 9回	100%
社外取締役	加藤 百合子	8 / 9回	89%
社外取締役	平野 肇	9 / 9回	100%
社外取締役	丸野 孝一	9 / 9回	100%

(注)2024年3月27日開催の第176回定時株主総会にて、小杉充伸氏、遠藤正和氏、野末寿一氏が取締役を退任し、松本尚武氏が就任しています。



- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



監査役会の構成と役割

監査役会は、監査の方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況および結果について報告を受けるほか、取締役等および会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めています。

監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成しています。監査役は、監査計画に基づいて実施する監査や取締役会への出席に加え、業務執行に関する重要な会議にも出席することにより、取締役の職務執行状況の監査を行っています。

監査役会の活動状況

2024年度においては10回開催され、主な決議事項は、監査計画、監査報告、監査役選任議案への同意、会計監査人の評価および再任・不再任、会計監査人の報酬同意等でした。

監査役会出席状況

		出席回数	出席率
常勤監査役	飯田 晃司	2 / 2回(注)	100%
常勤監査役	小杉 充伸	8 / 8回(注)	100%
社外監査役	谷津 良明	10 / 10回	100%
社外監査役	小林 英文	9 / 10回	90%
社外監査役	柴垣 貴弘	10 / 10回	100%

(注)2024年3月27日開催の第176回定時株主総会において、飯田晃司氏が退任し、小杉充伸氏が就任しています。

指名・報酬委員会の構成および活動状況

指名・報酬委員会(社外委員2名、社内委員1名)では、経営のより一層の透明性を確保することを目的に、取締役会長を議長として、取締役および執行役員を選解任ならびに報酬等に関する代表取締役からの諮問事項につき、審議しています。

2024年度においては3回開催され、役員体制、役員報酬に関する事項等を審議しました。

指名・報酬委員会出席状況

		出席回数	出席率
委員長	岸田 裕之	3 / 3回	100%
委員	松本 尚武	1 / 1回(注)	100%
委員	野末 寿一	1 / 1回(注)	100%
委員	中西 勝則	3 / 3回	100%
委員	丸野 孝一	3 / 3回	100%

(注)松本尚武氏、野末寿一氏については、2024年3月24日付での委員退任前の状況を記載しています。

業務執行体制

当社では、業務執行機能の強化と責任の明確化を図るため、執行役員制度を導入し、執行役員は取締役会が決定した業務執行計画に基づき、各担当業務を執行しています。併せて、常勤取締役および執行役員ならびに主要子会社社長で構成する経営会議を原則週1回開催し、経営に関わる重要事項の審議を行うとともに、各事業の推進を目的に各本部・グループ各社の業務執行責任者と経営会議メンバーとの会議などを定期的に開催し、グループ内の的確な意思決定と監視・監督機能の充実を図っています。

- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ





社外取締役メッセージ

地域の皆さまと 想いを重ねながら、 当社グループの未来を 共に描いていきます

社外取締役

中西 勝則

エネルギーを架け橋に 地域との共感が生む新たな価値創造

当社グループは「グループ 2030年ビジョン」のもと、「安全・安心」「カーボンニュートラル化実現へ」「QOL向上」の3つの視点から、新たな価値創造に向けて多面的な変革を推し進めています。これらの取り組みに通底するのは、「地域」を基点とする姿勢です。「エネルギーで社会を良くする」といった一方向的な貢献ではなく、地域と対話を重ね、共に行動し、共に成長していく。この共創こそが、当社グループの目指す未来です。

もっとも、そうした未来を実現していくためには、当社グループを取り巻く環境変化にも向き合わなければなりません。米国における政権交代や政策転換などにより、世界のエネルギー・環境政策は大きく揺れ動き、将来の見通しは依然として不透明です。こうした状況だからこそ、コアコンピタンスであるエネルギーを通じて地域とどのように共感を育んでいくかが問われています。

意思決定の進化と深化を追求 形式から本質への転換を目指す

当社グループと地域を共感でつなぐためには、それを支えるガバナンス強化が欠かせません。これはグループ2030年ビジョンでも掲げている、非ガス事業を拡大し連結経常利益に占める割合を50%まで引き上げるという方針とも深く関係しています。その実現にあたって、現状の延長線上でのやり方では限界があるため、従来の慣習

から脱皮しようとする機運が高まりつつある状況です。

取締役会においても、かつては「会議は踊る、されど進まず」という傾向が見られましたが、現在では意思決定の精度やスピードが強く意識されています。こうした変化は、まさに従来の慣習からの脱却に向けて動き出していることの表れと言えます。さらに踏み込み、報告・議論といった目的を意識して会議を運営することができれば、議論や意思決定の質もより洗練されていくはずで、変革の流れが一過性に終わらないよう、社外取締役である私もさらに後押ししていけるよう努めます。

地域との共創こそが サステナビリティ実現の最適解

金融の世界に長く身を置いてきた私の経験から言えば、「信用を創る」という点で、金融とエネルギーには通じるものがあります。信用は、関わり合いの中で築かれていくものであり、その土台となるのが地域と企業が互いに共感し合える関係性です。だからこそ私は、地域との共創なき企業に持続可能性はないと考えています。

ここで言う「地域」とは、本社のある静岡だけを指すのではなく、再エネ事業を展開しているベトナムや、事業拡大を図っているインドなどの進出先も含まれます。当社グループが関わるすべての地域において、共感し合える関係を築きながら、信頼を深め、共に成長していく。こうした関係づくりの積み重ねこそが、地域との共創を支える力となり、持続的な成長につながっていくはずで、そのような未来の実現に力を尽くしていきます。



- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



07

- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



コーポレート・ガバナンス

内部統制システム

基本方針

当社グループは、ステークホルダーの信頼に応え、当社グループの持続的な成長と企業価値の増大を図るため、コーポレート・ガバナンスの充実やコンプライアンスの徹底を図り、その具体的な施策として内部統制システムを構築するとともに、このシステムが常に有効に機能するよう継続的にその整備を進めています。

内部統制システム構築の基本方針

- 1 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- 2 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- 4 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- 5 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- 6 当社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- 7 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項ならびに当該使用人の取締役からの独立性および当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
- 8 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
- 9 その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
- 10 反社会的勢力を排除するための体制
- 11 財務報告の適正性を確保するための体制

役員報酬

当社は、2021年2月10日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しています。なお、当該取締役会の決議に際しては、あらかじめ決議する内容について指名・報酬委員会へ諮問し、答申を受けています。

取締役の報酬の基本方針

当社の取締役の報酬は、その責務や役位に相応しい水準とし、短期および中長期にわたり企業価値の最大化を図るインセンティブとして有効に機能するものとしています。報酬は、固定報酬である基本報酬、業績連動報酬および株式報酬により構成し、社外取締役については基本報酬のみで構成しています。

基本報酬、業績連動報酬、株式報酬の割合

個人別の基本報酬、業績連動報酬、株式報酬の報酬割合は、上位の役位ほど業績連動報酬と譲渡制限付株式報酬を合わせたインセンティブ報酬ウェイトが高まる構成とすることを基本に、役位、責務に応じて総合的に勘案し、指名・報酬委員会で審議の上、代表取締役が決定しています。

報酬体系ならびに報酬額の決定方法

報酬体系ならびに具体的な報酬額は、株主総会において決議された報酬限度額の範囲内で指名・報酬委員会にて審議し、取締役会において決定しており、2024年度は指名・報酬委員会を3回開催しています。なお、取締役の報酬限度額は、2007年3月29日開催の第159回定時株主総会において年額300百万円以内と決議し、当時の員数は9名です。この報酬限度額には2021年3月26日開催の第173回定時株主総会で決議した譲渡制限付株式報酬額を含んでいます。

監査役の報酬

当社の監査役の報酬額は、その責務に相応しい水準とし、基本報酬のみで構成し、株主総会にて決議された報酬限度額の範囲内で、監査役会において決定しています。なお、監査役の報酬限度額は、1999年3月30日開催の第151回定時株主総会において、月額5百万円以内と決議し、当時の員数は3名です。

株主・投資家とのコミュニケーション

株主総会

当社は株主総会を株主の皆さまとの重要な対話機会と位置づけています。2025年3月26日にホテルアソシア静岡にて開催した2024年12月期株主総会では、計86名の株主さまにご来場いただき、多くのご質問やご意見を頂戴しました。いただいたご意見を参考に今後の企業経営に活かしていきます。

株主還元

当社は、長期的に企業価値を最大化するため、将来の成長に向けた投資と財務体質強化のための内部留保を行いつつ、累進的配当を基本としながら、業績ならびに自己資本利益率(ROE)と配当性向を乗じた株主資本配当率(DOE)などを総合的に勘案し、継続的な株主還元の充実を図っていきます。なお、配当性向に関しては、3割を目標水準とします。

株主優待の実施

当社の株主さまのうち、3単元(300株)以上保有いただいている株主の皆さまには、株主優待として、保有株式数と保有期間に応じた株主優待ポイントを進呈しています。進呈ポイントは、静岡県の特産品・名産品などの商品との交換や、公益法人への寄付を選んでいただけます。また、多くの株主の皆さまに長期的に保有していただくことを目的に、長期保有優遇制度を導入しています。

静岡ガス・プレミアム優待倶楽部

<https://shizuokagas.premium-yutaiclub.jp/>



株主施設見学会の実施

当社は、地域に根差したエネルギー事業者として、お客さまとしてだけでなく、株主さまとしても、より多くの方々に長期にわたってご支援をいただきたいと考えています。2024年6月には株主さまを対象に、富士支社および静岡ガス&パワー富士発電所の見学会を開催しました。当日は県内だけでなく県外からもお越しいただき、発電所の設備や富士支社のフリーアドレスの様子などをご見学いただきました。また、2024年11月にも清水エル・エヌ・ジー袖師基地の見学会を実施しました。このような施設見学会は株主の皆さまとのコミュニケーションの場として、今後も定期的を開催していきます。



機関投資家との対話

当社は、機関投資家や証券アナリストの皆さまに向けて、四半期ごとに決算説明会を開催しています。また、定期的なIR活動を実施し、当社グループへの理解を深めていただくため、個別ミーティングを積極的に実施しています。加えて、金融機関の皆さまに向けても定期的なIR活動を実施し、当社への理解を深めていただくよう努めています。2024年度は、年2回の決算説明会や延べ20件程度の個別ミーティングなどを実施しました。これらのIR活動を通じて得られたご意見やご要望は、経営会議などを通じて社内でも共有し、企業価値の向上に役立てています。



- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



07

- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



リスクマネジメント

基本的な考え方

各事業の事業推進上で発生するリスクは、主管する事業本部長がその責任を負いますが、グループ本社の本部長または担当役員では、経営、コンプライアンス、安全、システム・セキュリティなど部門を横断するリスク対応を推進しています。これらを補完、補強し、グループ経営に関するリスクを適切に識別・分析して的確な対応を図るため、2025年1月より「リスク管理委員会」を設置し、グループ全体のリスクマネジメント体制を整備・運用しています。

リスク管理委員会

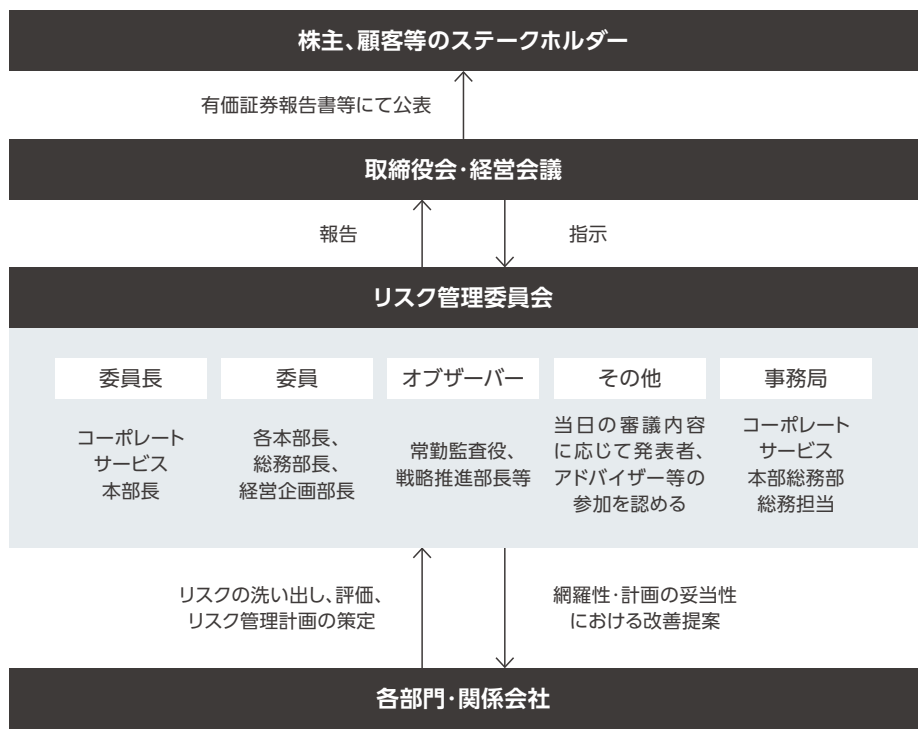
「リスク管理委員会」はコーポレートサービス本部長を委員長とし、各本部長、総務部長および経営企画部長を委員としています。原則年2回開催し、定期的に重要リスクの見直し・選定を行うとともに、経営成績および財務状況等に影響を及ぼす可能性のある重要リスクに対する予防保全計画・実績の報告、審議を行い、効率的かつ効果的なリスク管理を実施しています。「リスク管理委員会」は、事業環境の変化等により顕在化したリスクへの対応が適切になされているかを検証し、全社リスク対応が機能していることを評価し、必要な是正措置を指示する役割を担っています。

投資委員会

「投資委員会」は、当社グループの経営成績および財務状況に影響を及ぼす可能性のある投資およびデリバティブ取引にかかるリスク(以下、投資リスク)を定性的および可能な限り定量的に把握し、また当該投資リスクを極小化しうる手法を迅速かつ的確に検討の上、対処することにより、被害および損害等を最小限に抑えることを目的としています。経営戦略本部長を委員長、コーポレートサービス本部長と総務部長および経営企画部長を委員とし、投資リスクを伴う契約・取引が原則1案件1億円以上の場合、または委員長が必要と判断した場合に開催しています。

リスク管理体制

リスク管理の統一的な運用および潜在的なリスクを早期発見し、迅速に対応することを目的として、リスク管理体制を整備しています。毎年度、リスクの見直しやリスク管理計画の策定、リスク管理計画の進捗状況の振り返りを実施し、それらの内容についてリスク管理委員会等で審議することでPDCAサイクルが回る仕組みとしています。

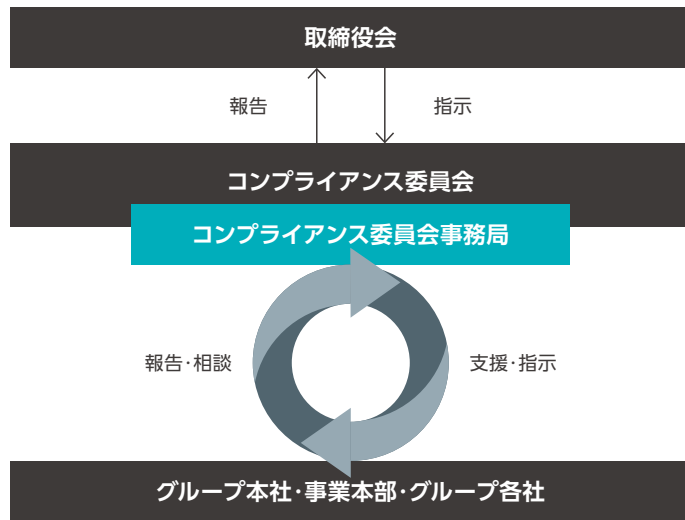


コンプライアンス

基本的な考え方

当社グループは、コンプライアンスを重要な経営課題の一つと位置づけ、当社グループのすべての従業員が共有すべき価値観や行動基準を示した「静岡ガスグループ行動基準」実践を通して、信頼され選ばれ続ける企業グループとなり、地域社会とともに成長・発展することを目指します。

コンプライアンス推進体制



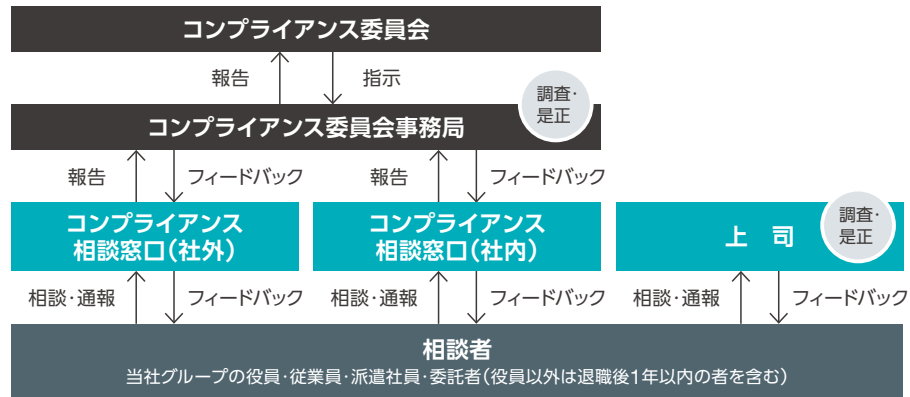
社長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置し、原則年2回開催しています。コンプライアンス委員会は主に右の役割を担っています。

- 当社グループのコンプライアンスにかかわる基本計画、年度方針および実施計画
- コンプライアンス相談窓口の設置および相談への対応
- コンプライアンス違反の再発防止策の指示
- コンプライアンスに関する教育・研修

コンプライアンス違反の防止や早期発見のための対応

コンプライアンス違反の早期発見・未然防止を図るため、当社グループの役員・従業員・派遣社員・委託者(役員を除き退職後1年以内の者を含む)が、通報・相談できる「コンプライアンス相談窓口」を社内および社外に設置しています。

受け付けた相談は、速やかに事実関係の調査を行い、違法行為等が確認された場合には、必要な是正措置および再発防止措置を講じています。また、相談者に対する不利益な取り扱いを禁止するとともに、通報された情報は、厳格に管理しています。



コンプライアンス推進の取り組み

階層別研修

役員、管理職、従業員など階層別に研修を実施し、法令や社内ルールの遵守徹底、コンプライアンスに取り組むことの重要性について理解浸透を図っています。

コンプライアンス月間

毎年10月を「コンプライアンス月間」と定め、グループ全従業員に対して、社長メッセージの発信、コンプライアンス意識調査アンケート、コンプライアンスミーティングを実施し、コンプライアンス意識の啓発を図っています。



- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS



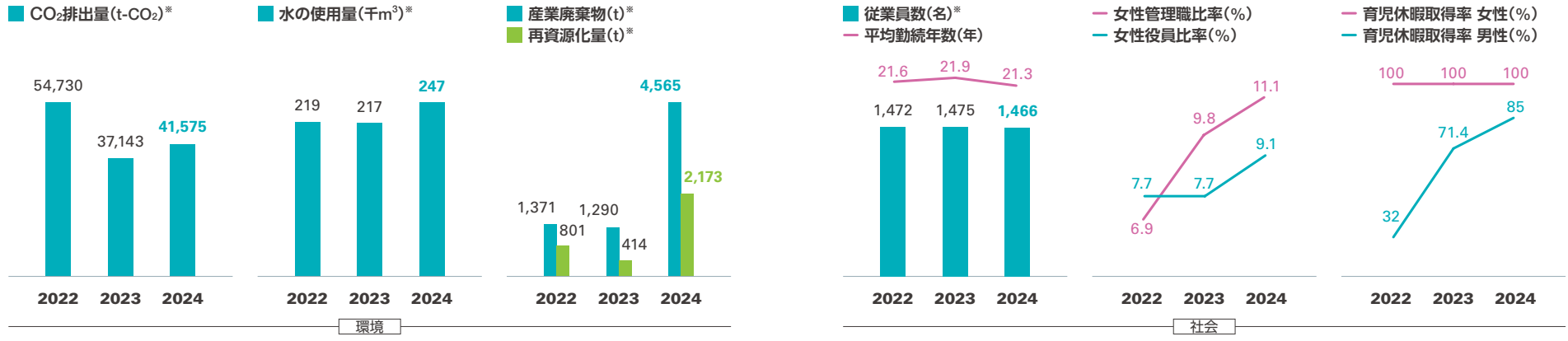
2050年カーボンニュートラルビジョン



主要財務・非財務データ

財務データ(連結)		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
主要財務情報	売上高	146,058	108,554	122,027	143,199	141,544	121,320	132,988	207,325	214,004	202,237
	営業利益	11,563	10,228	7,711	4,869	7,852	6,828	4,989	8,629	18,340	10,302
	経常利益	12,056	10,731	8,341	5,589	8,537	7,391	6,474	9,491	20,064	13,083
	親会社株主に帰属する当期純利益	7,638	6,724	4,985	3,290	5,519	3,709	4,115	5,975	14,107	8,776
	自己資本	65,223	70,563	75,459	75,669	80,382	82,073	86,308	92,847	107,359	118,113
	総資産	115,466	110,938	109,229	113,454	115,027	118,177	123,996	159,497	154,709	170,202
	有利子負債残高	18,961	14,789	11,702	9,879	8,216	6,085	6,625	32,177	18,313	18,890
	営業キャッシュ・フロー	30,845	16,697	10,746	11,885	21,921	20,303	▲6,909	4,116	37,755	10,977
	投資キャッシュ・フロー	▲9,253	▲8,956	▲6,596	▲5,334	▲5,825	▲8,428	▲9,797	▲14,074	▲14,123	▲8,675
	財務キャッシュ・フロー	▲12,010	▲6,185	▲5,450	▲4,239	▲4,002	▲4,490	▲1,412	23,552	▲15,909	▲1,855
フリーキャッシュ・フロー	21,591	7,741	4,149	6,550	16,095	11,875	▲16,706	▲9,958	23,632	2,301	
1株当たり情報	EPS(一株当たり当期純利益)	103.60	91.16	67.56	44.58	74.62	50.09	55.55	80.60	190.19	116.98
	BPS(一株当たり純資産)	884.63	956.52	1,022.66	1,024.71	1,086.11	1,108.38	1,164.72	1,252.17	1,447.28	1,569.41
	配当金	12.00	13.00	14.00	15.00	16.00	17.00	18.00	19.00	25.00	40.00
主要指標	ROE	12.2	9.9	6.8	4.4	7.1	4.6	4.9	6.7	14.1	7.8
	ROA	6.5	5.9	4.5	3.0	4.8	3.2	3.4	4.2	9.0	5.4
	自己資本比率	56.5	63.6	69.1	66.7	69.9	69.4	69.6	58.2	69.4	69.4
	配当性向	11.6	14.3	20.7	33.6	21.4	33.9	32.4	23.5	13.1	34.2
	DOE	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.9

非財務データ



- 役員一覧
- 執行役員一覧
- コーポレート・ガバナンス
- 社外取締役メッセージ
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 主要財務・非財務データ
- 会社情報

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



会社情報



会社名

静岡ガス株式会社

代表取締役 社長執行役員(COO)

松本 尚武

本社所在地

静岡県静岡市駿河区八幡1-5-38

設立

明治43年(1910年) 4月16日

資本金

62億7,900万円

主な事業内容

都市ガスの製造・供給および販売
LPGの販売
発電および電力の販売
リフォーム、ガス機器の販売、ガス工事

グループ会社

国内

清水エル・エヌ・ジー株式会社
ガスの製造・販売

吉田ガス株式会社 山梨県
ガス事業

中遠ガス株式会社
ガス事業

袋井ガス株式会社
ガス事業

御殿場ガス株式会社
ガス事業

島田ガス株式会社
ガス事業

下田ガス株式会社
ガス事業

信州ガス株式会社 長野県
ガス事業

佐渡ガス株式会社 新潟県
ガス事業

静岡ガスエネルギー株式会社
LPガス事業

静岡ガス&パワー株式会社
発電、電力の売買

静岡ガスリビング株式会社
リフォーム事業等

静岡ガス・エンジニアリング株式会社
ガス工事・空調工事等

海外

SHIZUOKA GAS TRADING PTE.LTD. シンガポール
LNGトレーディングのフロントオフィス業務ほか

SHIZUOKA GAS INDIA PRIVATE LIMITED インド
都市ガス事業の推進、再生可能エネルギーの事業開拓等

SHIZUOKA GAS AMERICA Co. アメリカ
シェールガス事業

静岡ガスクレジット株式会社
リース事業

静岡ガスサービス株式会社
LPG配送およびLNG輸送

静岡ガス・システムソリューション株式会社
情報処理およびシステム開発

静岡ガス保険サービス株式会社
保険代理業

エネリア静岡株式会社
ガス機器販売およびリフォーム事業等

エネリア東部株式会社
ガス機器販売およびリフォーム事業等

TSTエナジーインベストメント株式会社
タイの産業向け天然ガス供給事業会社の株式の保有

有限会社オイガックス
LPガス事業

株式会社甲静岡ハウジング
新築・リフォーム・不動産業

S&F地域マネジメント合同会社
太陽光発電設備による発電・電力の販売

SGIメンテナンス株式会社
太陽光発電設備の保守管理・修繕

株式会社Sweets Investment
中古住宅の買取・再生・販売、分譲宅地の開発

不二高圧株式会社
容器検査、高圧ガスプラントの設計・施工等

(2025年5月31日時点)

07

01 INTRODUCTION
02 TOP MESSAGE
03 SPECIAL FEATURE
04 HOW WE CREATE VALUE
05 OUR VISION
06 OUR STRATEGY
07 CORPORATE GOVERNANCE

役員一覧

執行役員一覧

コーポレート・ガバナンス

社外取締役メッセージ

リスクマネジメント

コンプライアンス

主要財務・非財務データ

会社情報

CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



SHIZUOKA GAS GROUP REPORT 2025

静岡ガス株式会社
静岡県静岡市駿河区八幡1-5-38

www.shizuokagas.co.jp/

